

平成 17 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ハイマックス
代 表 者 名 代表取締役社長 山 本 昌 平
(コード番号 4 2 9 9 東証第 2 部)
問 合 せ 先 取 締 役 松 林 茂 美
(TEL. 0 4 5 - 2 0 1 - 6 6 5 5)

平成 17 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 11 月 4 日に公表した平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,000	470	255
今 回 修 正 予 想 (B)	8,700	280	155
増 減 額 (B - A)	300	190	100
増 減 率 (%)	3.3	40.4	39.2
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	9,855	906	501

(2) 単独業績予想

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,600	440	240
今 回 修 正 予 想 (B)	8,250	250	140
増 減 額 (B - A)	350	190	100
増 減 率 (%)	4.1	43.2	41.7
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	9,657	866	478

2. 修正の理由

情報サービス産業は、顧客の情報化投資に対する価格低下圧力が強く、依然として経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下で、中間決算短信において発表した通期の業績予想を達成することが困難な状況となりましたので、業績予想を修正することといたしました。

通期の売上高につきましては、一部の大型案件においての売上計上の時期が来期以降となると判明したこと、また不採算プロジェクト収束に注力する中で受注機会損失が生じたこと等により、当初見込みの売上高を下回る見通しとなりました。

利益面では、手戻り作業や当初見積の開発工数を大幅に上回ると認識せざるを得ないプロジェクトが発生し、今後の顧客交渉や原価低減・生産性向上努力によりましても、遺憾ではありますが当初見込んだ利益の確保は難しい見通しとなりました。

なお、連結業績予想及び個別業績予想の修正とも同様の理由によるものであります。

また、期末の1株当たり配当金につきましては、公表数値から変更する予定はございません。

このような環境の中で、受注活動の一層の拡大に努めるとともに、受注見積時から終了時までのプロジェクト管理強化を目的に、「経営管理室」を新設し不採算プロジェクトの撲滅に取り組んで参ります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上